

2024年度 事業報告

【声のライブラリーの有観客開催、夏の文学教室の6日間開催が再開】

声のライブラリーは、2020年度のコロナ禍以降、〈「文学者がいま一番会いたい文学者」と向かい合う〉を新たなテーマとし、無観客での収録を行い継続してきた。2024年度は5年ぶりに有観客として、全3回開催した。また、夏の文学教室は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止、縮小開催が続いていたが、2024年度は有楽町よみうりホールにて5年ぶりに6日間開催した。

【教科書定番作品の映像教材「舞姫」「こころ」制作】

国語教科書の定番作品をテーマとした企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学」の映像教材として、第三作目の森鷗外「舞姫」(監修:須田喜代次 資料提供:跡見学園女子大学 制作:NHKエデュケーショナル)、第四作目の夏目漱石「こころ」(監修:中島国彦 資料提供:岩波書店、姫路文学館、熊本大学附属図書館 制作:NHKエデュケーショナル)を制作。2025年1月31日、教育現場に向けて無償でオンライン配信を開始した。なお、本事業は、一般社団法人授業目的公衆送信補償金等管理協会(SARTRUS)の授業目的公衆送信補償金制度共通目的事業の助成を受けて実施した。

【資料収集】

所蔵資料総点数 1,361,229点

	図書	雑誌	特別資料	写真	視聴覚資料	寄託
本年度	3,329	6,233	2,465	0	0	2件
累計	513,856	729,378	112,323	5,425	247	76件 (寄託累計16,583点)

【閲覧等サービス】 []内は前年度の数

閲覧	資料複写サービス	資料写真サービス	レファレンスサービス
日数231日 [232日] 人数1,463人 [1,480人]	1,141件 32,535枚 (うち学割164件 3,798枚) [1,174件 31,549枚 (うち学割143件 2,880枚)]	227件 1,019枚 [249件 1,018枚]	538件 [570件]

成田分館 開館日数 22日 [22日]、展示来観者 10人 [6人]、閲覧者 1人 [1人]
HP特別資料検索サービス 利用登録者 1217人 [1,049人]

【展覧会】

- ① **春季特別展『『芥川龍之介文庫目録 増補改訂版』刊行記念 芥川龍之介展』**
2024年4月6日(土)～6月8日(土)(44日間、2,934人) 編集委員：庄司達也
4月5日、内覧会を開催。図録(館編、B5判、カラー80ページ)製作。
4月13日「旧蔵書に見る「知」の宇宙」開催 鼎談：庄司達也、小澤純、澤西祐典(参加48名)
川端康成記念室＝「**川端文学の名作Ⅰ**」
- ② **夏季企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学Ⅱ—中島敦「山月記」とその時代」**
2024年6月22日(土)～9月7日(土)(53日間、1,798人) 編集委員：安藤宏、山下真史
協力：県立神奈川近代文学館
- ③ **秋季特別展「編集者かく戦へり」**
2024年9月14日(土)～11月23日(土・祝)(49日間、2,750人) 編集委員：武藤康史
9月13日、内覧会を開催。図録(館編、B5判、カラー33ページ)製作。
10月14日「編集者は見た！～作家と先輩たちの知られざる素顔～」開催 講師：中瀬ゆかり(参加68名)
川端康成記念室＝「**川端文学の名作Ⅱ**」

- ④ **協力企画展「三島由紀夫生誕100年祭」**
2024年11月30日(土)～2025年2月8日(土)(43日間、7,114人)
主催：三島由紀夫生誕100年祭実行委員会 協賛：白百合女子大学
協力：当館、日仏会館、フランス国立日本研究所、アートプランニング レイ
後援：山中湖文学の森三島由紀夫文学館
- ⑤ **「海、山、人、黙す—震災と言葉」展**
2025年2月22日(土)～3月29日(土)(24日間、638人) 編集委員：小池昌代
3月22日座談会開催 登壇：季村敏夫、高木佳子、渡辺誠一郎 司会：小池昌代(参加54名)

【講座・講演会】

- **文学館へ行こう！(文学館を知りたい方へ — 利用案内講座)** (参加者 計24名)
春季＝5月25日 秋季＝11月2日 講師：栗原敦
- **資料は語る 2024年度＜文学と美術の交響＞**
前期 1、4月20日(土) 出口智之：口絵・挿絵から名作を読む (受講者 26名)
2、5月18日(土) 伊藤一郎：画文共同 — 江戸から近代へ (受講者 24名)
3、6月8日(土) 真田幸治：小村雪岱と大正期(九九九会) (受講者 37名)
後期 4、9月21日(土) 松本和也：高見順と朝井閑右衛門——『いやな感じ』を中心に (受講者 17名)
5、10月19日(土) 田中淑恵：福永武彦『玩草亭百花譜』と花のスケッチ (受講者 34名)
6、11月16日(土) 前田恭二：余技の愉しみ 1935年の「余技展」を中心に (受講者 21名)
- **声のライブラリー** (公益財団法人石橋財団 助成事業)
第101回 2024年9月28日(土) 田中慎弥 × 山田詠美 (参加者 41名)
第102回 2024年10月26日(土) 長野まゆみ × そらしといろ (参加者 40名)
第103回 2024年11月30日(土) 木内昇 × 堀川恵子 (参加者 39名)
・2025年3月31日より、上記3回の朗読・対談を収録した「2024年の声のライブラリー」および「2023年の声のライブラリー〈世界版〉」(Helen O’ Horan氏訳)の動画配信をVimeoにて開始。

- **「教室」と「文学」をつなぐ—日本近代文学館を橋渡しとして**
中学高校教員を対象に、教育現場での文学館活用法ミニレクチャーや意見交換会をおこなった。
7月13日(土) 総合セミナー 講師：小平麻衣子・紅野謙介 会場参加11名、ZOOM視聴37名
8月10日(土)「山月記」セミナー 講師：山下真史 会場参加25名、ZOOM視聴33名

- **第59回 夏の文学教室「異文化を問いなおす—ことばの冒険、ちがいの発見」** (聴講者計2,976人)
(読売新聞社後援、小学館協力、7月29日～8月3日、有楽町・よみうりホール)
講師：森山恵、島田雅彦、古川日出男、梯久美子、野崎歓、浅田次郎、安藤礼二、朝吹真理子、小野正嗣、斎藤真理子、角幡唯介、柴田元幸、川本三郎、李琴峰、池澤夏樹、グレゴリー ケズナジャット、綿矢りさ、高橋源一郎

- **文学館演習—日本近代文学資料の探索と処理** 8月20日～24日(受講者 15大学ほか30名)
講師：安藤宏、石田仁志、大原祐治、紅野謙介、五味渕典嗣、出口智之、中島国彦、宮内淳子、山田俊治、和田博文、渡部麻実、事務局職員

- **文学館職員研修講座** 2025年1月29日～31日(受講者 10館12名)

【刊行物】

『日本近代文学大事典』増補改訂デジタル版第4期 2025年2月14日JapanKnowledge公開
『明治文学の彩り 口絵・挿絵の世界』電子英訳版(翻訳者Robert Goree) 2025年2月28日リリース
紀要「日本近代文学館年誌—資料探索」第20号 2025年3月20日刊行